

<b>事業所名</b>	<b>グループホーム勝次</b> (クリックすると事業者の情報にリンクします)
<b>日付</b>	平成19年 3月29日
<b>評価機関名</b>	<b>㈱東京リーガルマインド</b> (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
<b>評価調査員</b>	A:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、NAAHP-2級、介護支援専門員 B:現職 理学療法士 資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師(3年)
<b>自主評価結果を見る</b>	(事業者の自主評価結果にリンクします)
<b>評価項目の内容を見る</b>	(評価項目にリンクします)
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

#### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<b>記述項目</b>	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<p>入居者それぞれの経歴を把握して理解し、残存能力を尊重しながら自立に向けての支援を行うように努力している。</p> <p>入居者一人ひとりの個性を尊重し、生活にリズムを取り入れメリハリがある活性化したホーム生活を目指している。</p> <p>より良い介護を実現するため、職員も共同生活の家族の一員として常にチームワークが取れるように努力している。</p> <p>地域と密着して地元の皆さんと触れ合う機会を大切に、積極的に様々な行事に出かけて地域参加・地域交流を進め、近隣の皆さんと良い人間関係を作るようにしている。</p>		

#### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<b>記述項目</b>	<b>入居者が落ち着いて生活できるような空間づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<p>年間の行事に、季節の変化が肌で感じられるような催しを取り入れている。自然を生かし、土に触れるようにして心身の安定を目指している。</p> <p>入居者が自分のリズムで自由に過ごすことが出来るように、共用空間・玄関・外周りに居場所を作り、自分の好みの時間を自由に使ってもらっている。また、孤独にならないように配慮している。</p> <p>山間地の恵まれた自然環境を生かし、広い庭の散歩・野菜作りで外気に触れるようにして心の安定を図っている。</p>		

#### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

#### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<p>岡山県北の那岐連邦を背景に、見晴らしの良い小高い場所にホームは位置し、四季折々の景色を楽しめる自然の中にある。</p> <p>医療法人が運営しており、認知症専門医師の住診と指導もある。複数の津山の総合病院と提携し、緊急時には直ちに対応してもらえ、医療のバックアップ体制は整っている。</p> <p>ホーム運営について家族アンケートを取り、運営推進会議のメンバーにもアンケートで意見を聞いている。ホームの名前にも地域との結びつきを大切にしている代表者の思い入れがあり、積極的に地域の意見を取り入れている。</p> <p>職員は、入居者・家族に対して穏やかに丁寧に接し、入居者の人格の尊重に配慮している。家族の食事と宿泊は無料にして訪問支援を行っており、家族の訪問は多い。</p> <p>自然の中で自然に沿った生活を大切にしている。野菜は菜園で作った物を使い、お米は近くの農家で分けてもらい、栄養士のスタッフが上手にバランスを取って食卓にのようになっている。</p>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<p>歩いて行ける距離にスーパーやお店が無く、買い物支援は大変だと思うが、買い物は社会性を呼び戻し、認知症緩和に役立つものとされており、入居者の買い物意欲に沿った支援が行われることを期待する。</p>

#### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<b>記述項目</b>	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<p>入居者に昔の経験を思い出してもらい、自信を取り戻すように配慮している。管理職だった人には行事の時に挨拶をしてもらい、接遇の指導は銀行員だった人をお願いし、その人その人の経験を尊重するようにしている。</p> <p>個人情報で不要となったものは、全てシュレッダー掛け処分するようにしている。個人の情報については事務室で責任を持って保管し、個人情報の管理を徹底するようにしている。</p> <p>入居者個人からの大切な預かりものは、事務所内のカギの掛かるボックスに保管し、個人のプライバシーと人格を尊重するように心掛けている。</p> <p>面会簿は一人ずつ別々に記入し、玄関に置いてある面会簿ポストに入れるようにしており、個人の面会のプライバシーを保護するように努めている。</p>		

#### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<b>記述項目</b>	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<p>母体法人が運営する医療施設や県下数ヶ所にある系列のグループホームとのネットワークを生かし、職員の認知症高齢者に対する介護技術の向上に向けて日頃より努力している。</p> <p>事故報告書に「ヒヤリ・ハット」を含めて記載し、全職員で検討・研究してその情報を共有し、原因を把握して事故再発防止に努力している。</p> <p>外部からの接遇に関しての講師を招いて研修し、親しき仲にも礼節を守って入居者と接している。</p> <p>事故発生対応マニュアル・緊急時対応マニュアルを作成し、緊急に備えて避難訓練も行っている。また、緊急連絡網・入居者連絡表を事務室の分かりやすい所に掲示しており、緊急有事の際の備えはしっかりと整っている。</p>		